

市政を問う!

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。9月定例会の一般質問は、5日(金)、8日(月)、9日(火)の3日間に15名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)

代
表
質
問

○ ゲリラ豪雨のための冠水対策について ○ 国庫補助を最大限に生かした 学校耐震化の取り組みを伺う



公明党 新宅 雅子

道路問題について

問 8月5日と29日の両日、市内では大変な雷、大雨に見舞われ、落雷、停電等の被害が相次ぎました。そこで国道409号及び市道223号線、一区付近における大雨時の冠水対策、一区太陽団地内の床下浸水を防ぐため、水路の改修計画について伺う。

市長 抜本的な改善策として、平成27年度の完成を目指すし、下水道事業により大池調整池と大池第3雨水幹線の整備を進めています。それまでの間は、側溝の点検、清掃、補修などを実施することはもちろんのほか、状況により、土のう積みやポンプによる排水などの方法で対応していきたいと考えています。

環境問題について
問 ごみ減量と環境負荷の低減への取り組みについて伺う。
市長 ごみの減量には計画的な買物や、生ごみは水切りを徹底するとともに、余ったものは生ごみ処理機や生ごみ処理容器を利用し、堆肥化することをお願いしているところです。今

後もごみの排出量削減については、十分にPRしていきたいと考えています。
問 来年度から新分別区分が導入されるが、早いスピードで進行している高齢化社会に対して周知・徹底をどう図るのか伺う。

市長 ごみ排出量の中には、資源ごみが含まれていますが、回収回数が少ないため、今回の計画で、燃やせないごみに含まれることの多かったペットボトルの回収回数を増やしたり、燃やせないごみとして埋め立てていた小型家電やプラスチックを、新たに分別収集することにより、資源化を促進していきます。なお、高齢者世帯には、関係機関と連絡を密にし、説明会などを開催して、ごみの分別区分を理解していただけるよう努めていきたいと考えています。

問 レジ袋削減のためには、市民の協力が不可欠と考える。そのためには、市民や事業者などで構成された推進協議会との協働が必要と考えるが如何か。
市長 行政主導による取り組みには一定の限界がありますので、資源回収実施団

体や各種講座において、PRするとともに市民・事業者の皆さんのご理解、ご協力により、レジ袋削減を考えています。

学校耐震化について

問 「改正地震防災対策特別措置法」が6月に成立・施行されたが、次代を託す大切な子どもたちが集まる学校である。災害時には一般市民の避難場所にもなっている学校の耐震化について伺う。
教育長 市内小中学校施設で、耐震調査が必要な建物については、昭和56年以前の建物で、2階建て以上、または床面積が200平方メートルを超えるものが対象になります。平成8年度に実施した耐震診断の結果を受けて、平成13年度に二州小学校校舎の改築及び耐震補強を、平成17、18年度に八街中央中学校の校舎改築を実施したところです。

現在、朝陽小学校校舎の改築に向けて、昨年度に用地測量を実施し、本年度は基本計画を実施し、配置について検討しているところです。なお、平成16、17年度において実施した耐震化優先度調査では、優先度1番目が八街中学校であったことから、本年度同校の校舎と体育館について、耐震診断を実施しているところです。このほかに、今後、耐震診断の実施対象建物は、笹引小学校、交進小学校、二州小学校沖分校、川上小学校の各校舎及び実住小学校体育館があります。ができるだけ早い時期に、順次耐震診断を実施し、対応を検討していきたいと考えています。



▶朝陽小学校校舎